

2024年5月14日14:00～15:00

令和6年第14回原子力委員会  
資料第1号

# 原子力に関する世論の動向と コミュニケーション

木村学習コンサルタンツ  
代表 木村 浩



# 世論の動向

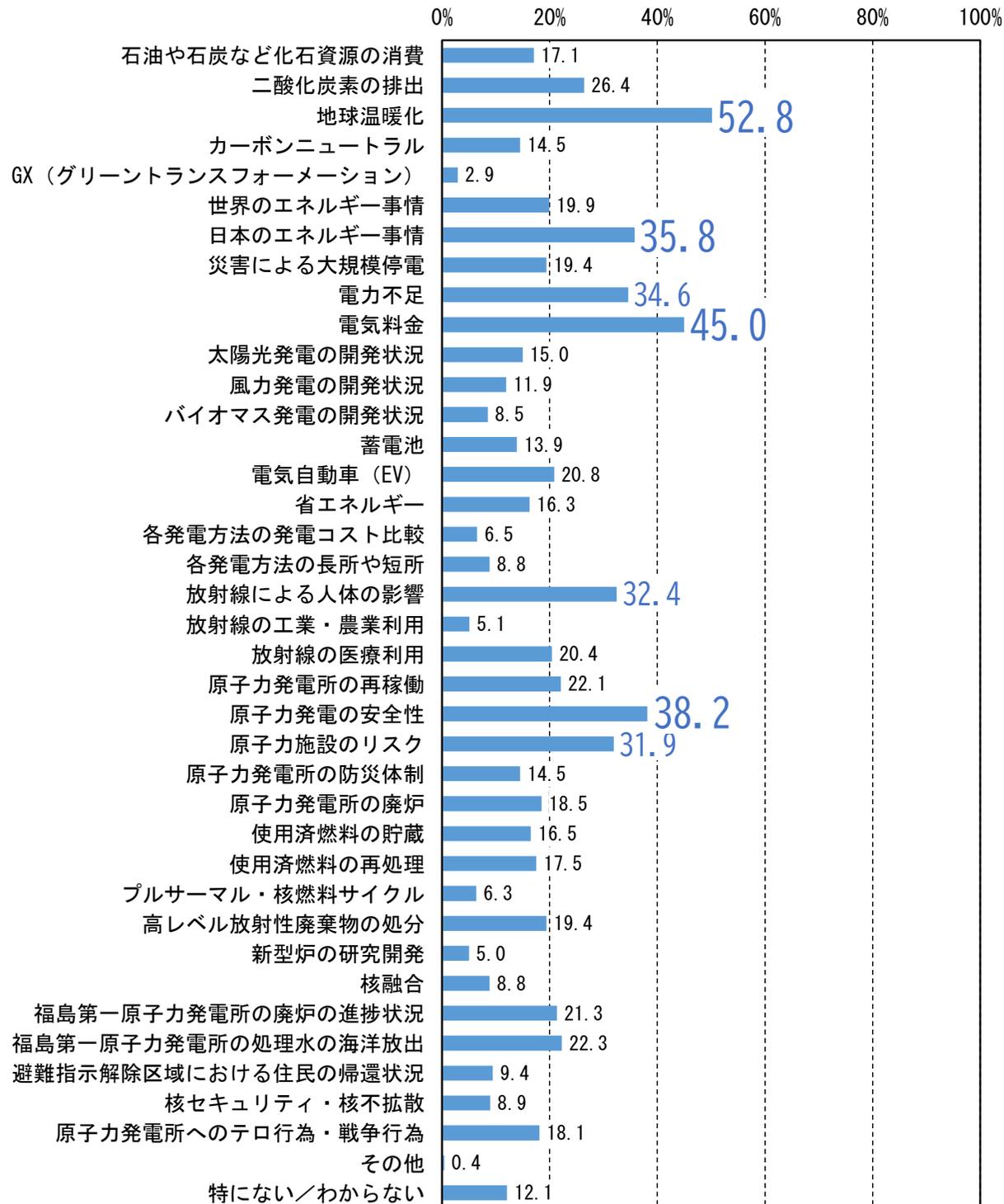
## ～参照する調査の概要

- 原子力に関する世論調査  
(2006年度～2023年度・第17回)
- 方 法：割り当て留め置き法
- 対 象：全国15歳～79歳男女1200人
- 実施者：日本原子力文化財団

[https://www.jaero.or.jp/data/01jigyou/tyousakenkyu\\_top.html](https://www.jaero.or.jp/data/01jigyou/tyousakenkyu_top.html)

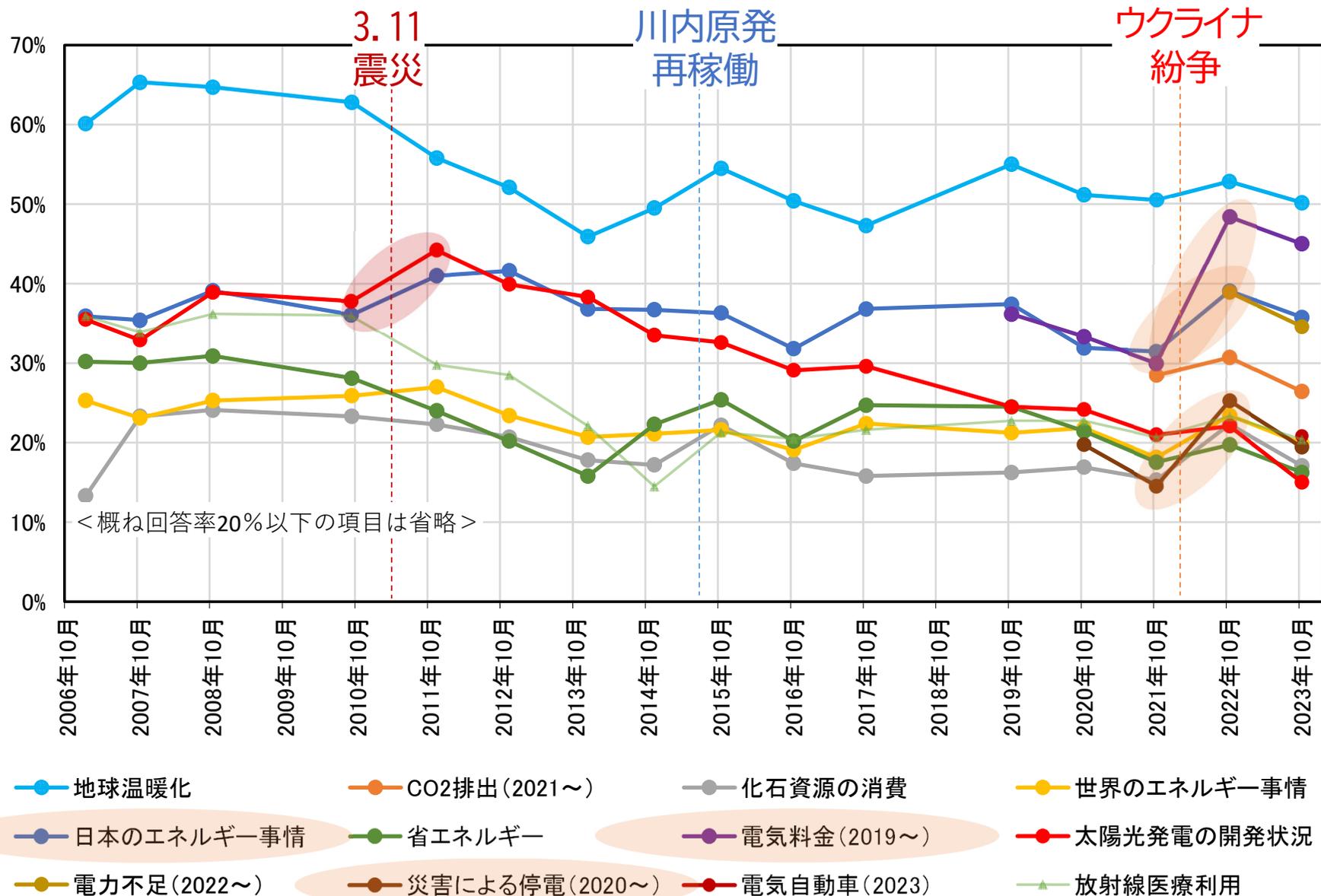
# 関心

原子力やエネルギー、放射線の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。



# 関心（エネルギー・環境関連・経年）

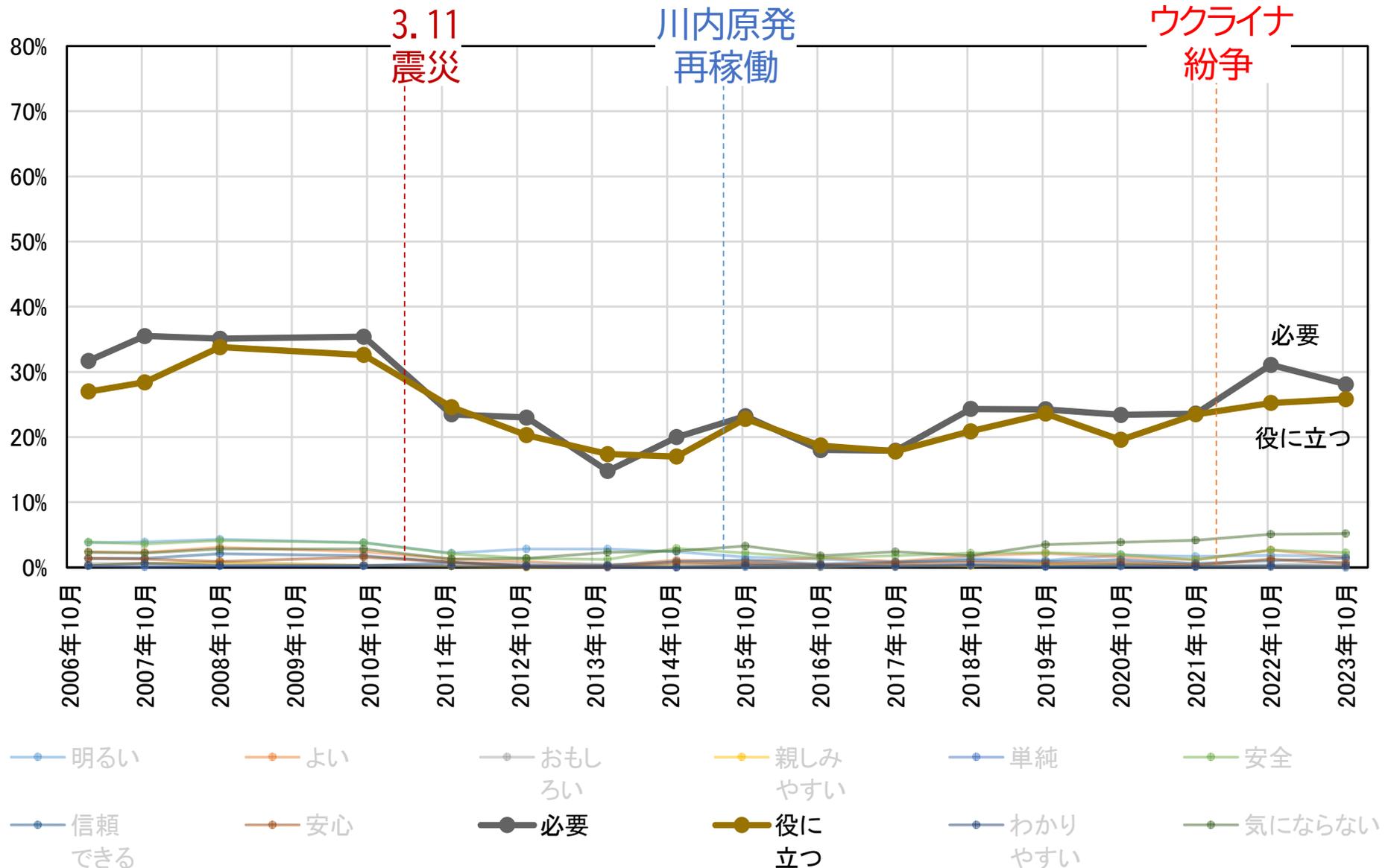
原子力やエネルギー、放射線の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。





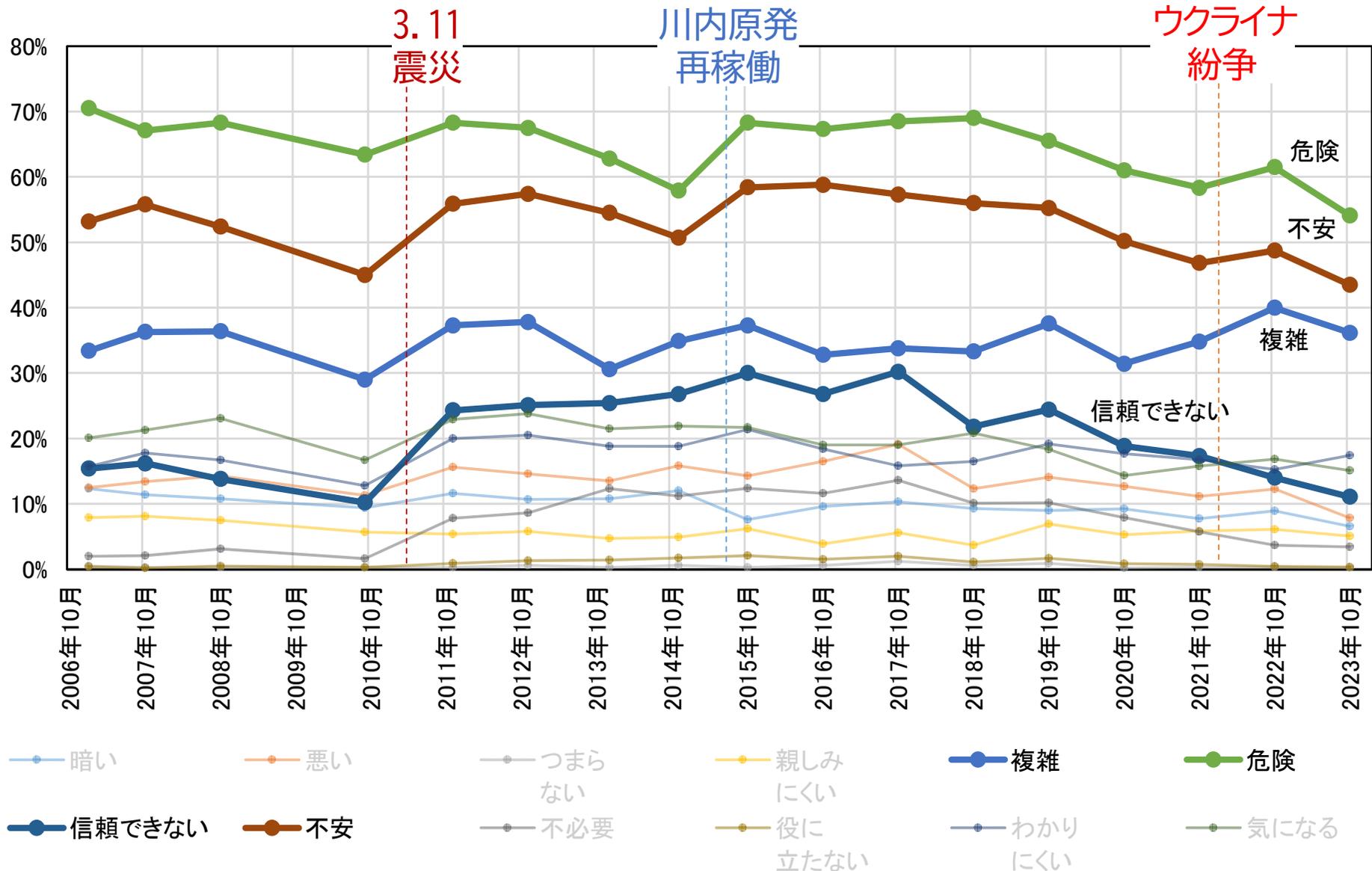
# 原子力イメージ（肯定的）

あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。



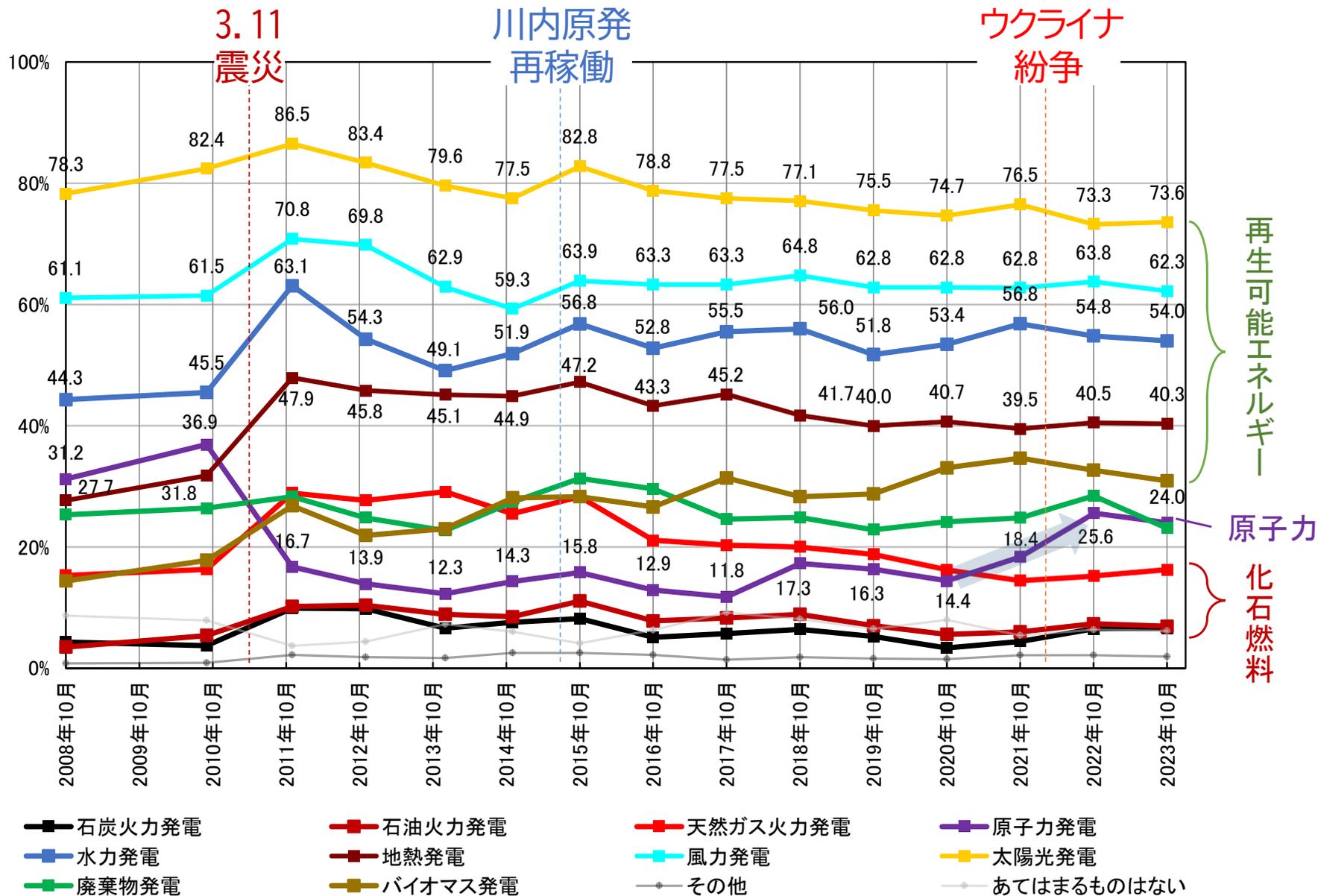
# 原子力イメージ（否定的）

あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。



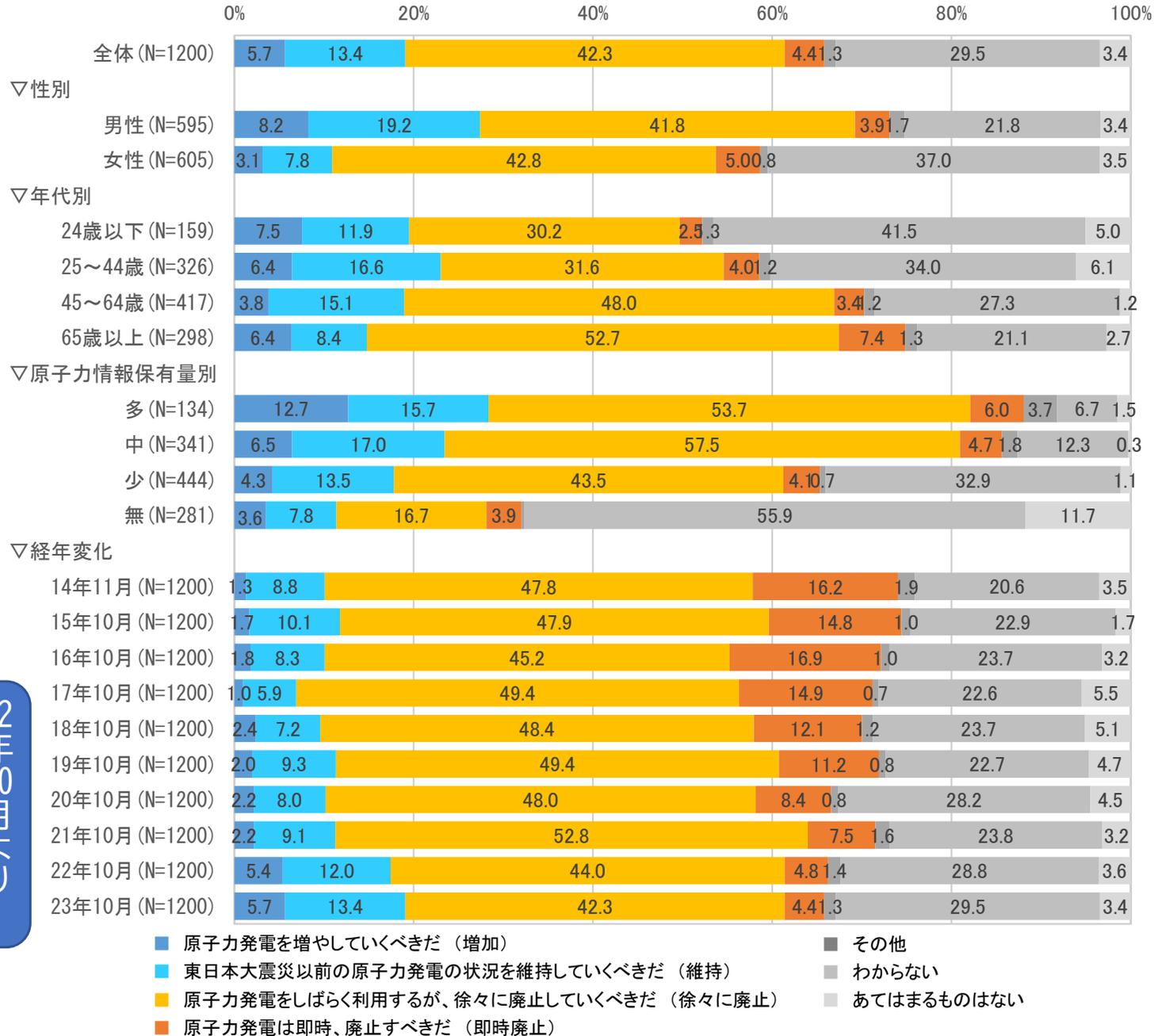
# エネルギー源（経年）

今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。



# 原子力利用

今後日本は、原子力発電をどのように利用していけばよいと思いますか。



22年10月より  
積極的利用層は  
増加傾向

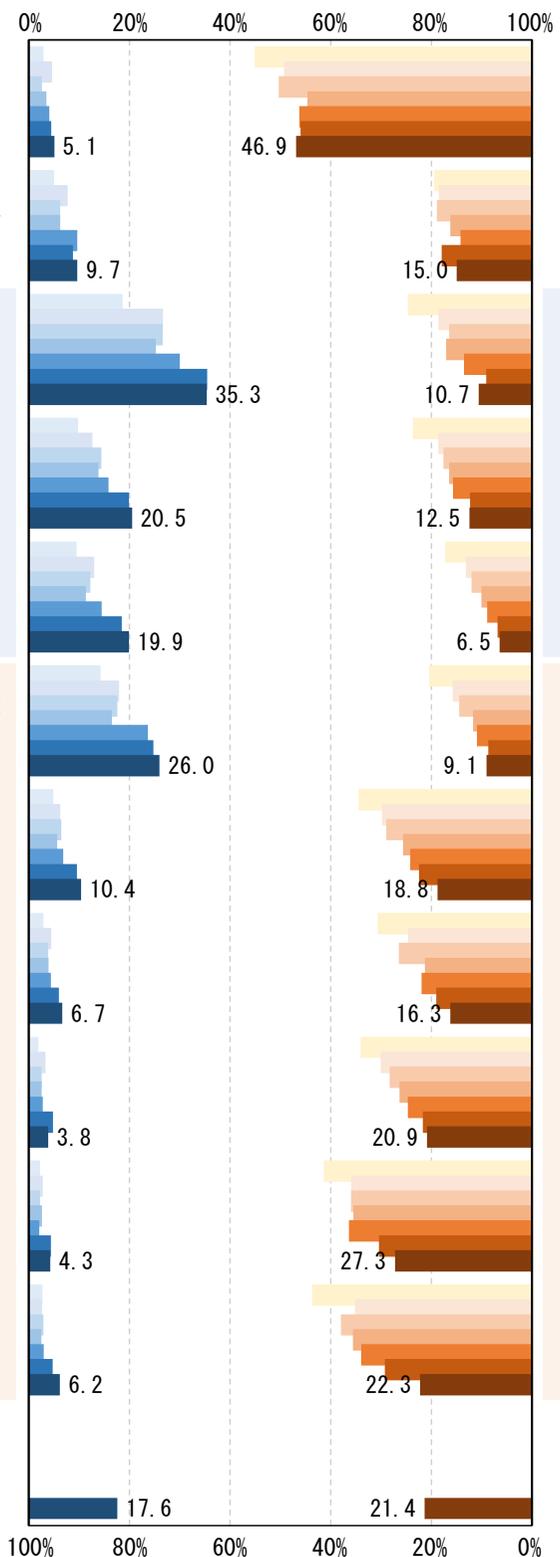
即時廃止層は  
徐々に減少

- 原子力発電を増やしていくべきだ (増加)
- 東日本大震災以前の原子力発電の状況を維持していくべきだ (維持)
- 原子力発電をしばらく利用するが、徐々に廃止していくべきだ (徐々に廃止)
- 原子力発電は即時、廃止すべきだ (即時廃止)
- その他
- わからない
- あてはまるものはない

# 再稼働

原子力規制委員会による新規制基準への適合確認を通過した原子力発電所は、地元自治体の了解を得て、再稼働されることとなります。以下のような再稼働に関するご意見について、あなたのお考えにあてはまるものがありましたら、すべてお選びください。  
 [2017年(薄色)～2023年(濃色)]

Safety



原子力発電所の再稼働を進めることについて、国民の理解は得られている

再稼働を進めるかどうかは、政策を実施してきた国や電力会社が決めればよい

## Energy Security

電力の安定供給を考えると、原子力発電の再稼働は必要

## Environment

地球温暖化対策を考えると、原子力発電の再稼働は必要

## Economic efficiency

原子力発電を止めると、日本経済に大きな影響を与えるので、再稼働すべき

新規制基準への適合確認を経て再稼働したのであれば、認めてもよい

地震や津波などの自然災害への対策が十分に講じられているため、再稼働は認めてもよい

防災体制が十分に整備されているため、再稼働すべき

原子力発電が再稼働しても、大事故は起こらないと思う

放射性廃棄物の処分の見通しが立っていない状況でも、再稼働すべき

福島第一原発の廃炉の完了していない状況でも、再稼働すべき※

わたしは、原子力発電所の再稼働を進めた方がよいと考えている

原子力発電所の再稼働を進めることについて、国民の理解は得られていない

再稼働を進めることについては、電気を使用してきた自分たちが決めればよい

現状で電力は十分まかなえているので、原子力発電の再稼働は必要ない

地球温暖化対策を考えても、原子力発電の再稼働は必要ない

原子力発電を止めると、日本経済に大きな影響を与えないので、再稼働する必要はない

新規制基準への適合確認を経たとしても、再稼働は認められない

地震や津波などの自然災害への対策が不十分なので、再稼働は認められない

防災体制が不十分なので、再稼働するべきでない

大事故の不安があるので、原子力発電は再稼働するべきではない

放射性廃棄物の処分の見通しも立っていない状況では、再稼働するべきではない

福島第一原発の廃炉の完了していない状況では、再稼働するべきではない※

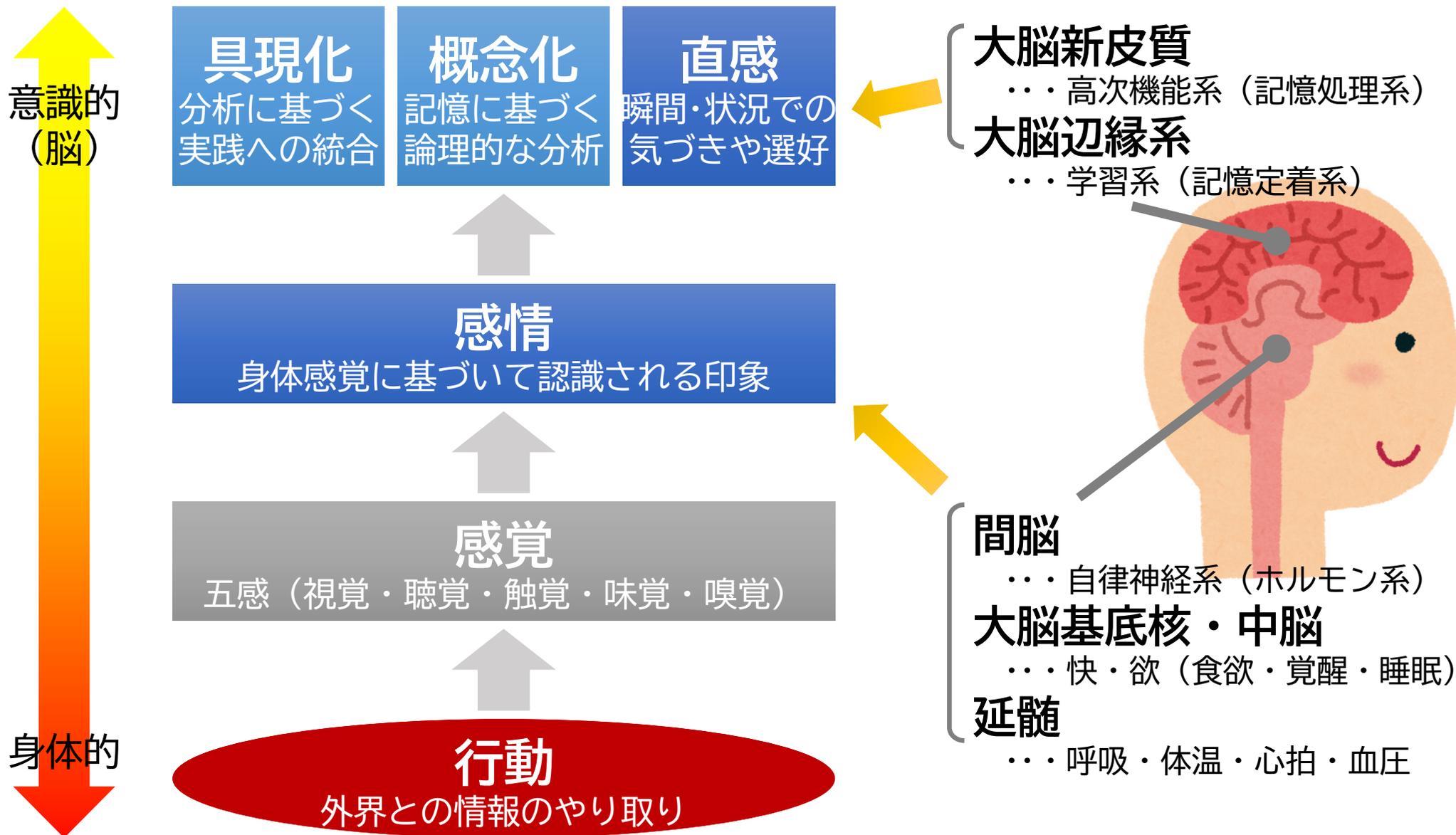
わたしは、原子力発電所の再稼働を進めない方がよいと考えている

※2023年度調査から文言変更。2022年度調査以前は、「福島第一原発の廃炉の見通しが立っていない状況・・・」の説明を付して、再稼働可否の意見を問う。

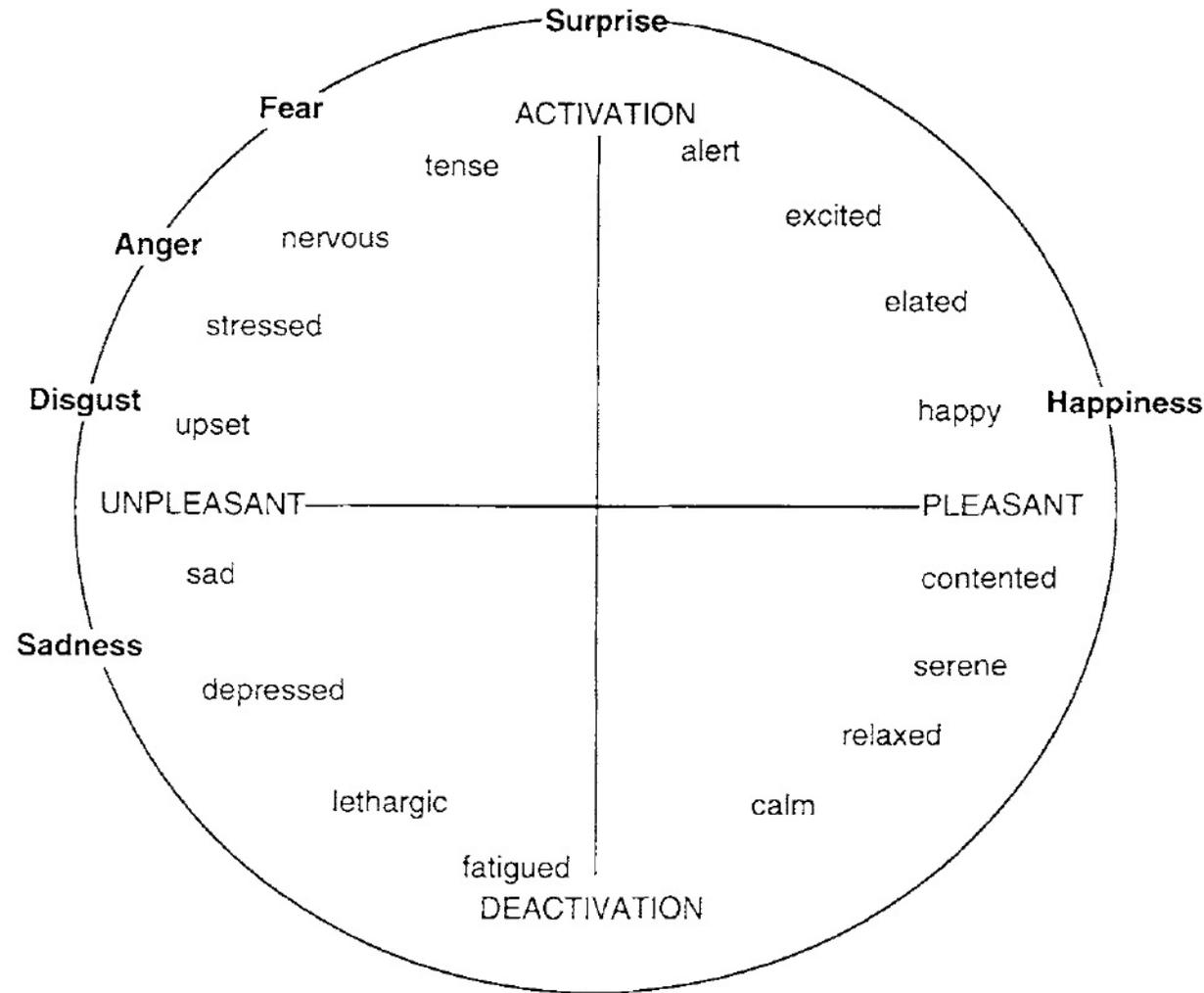
コミュニケーションを考える

**無関心とは何か**

# 身体と意識



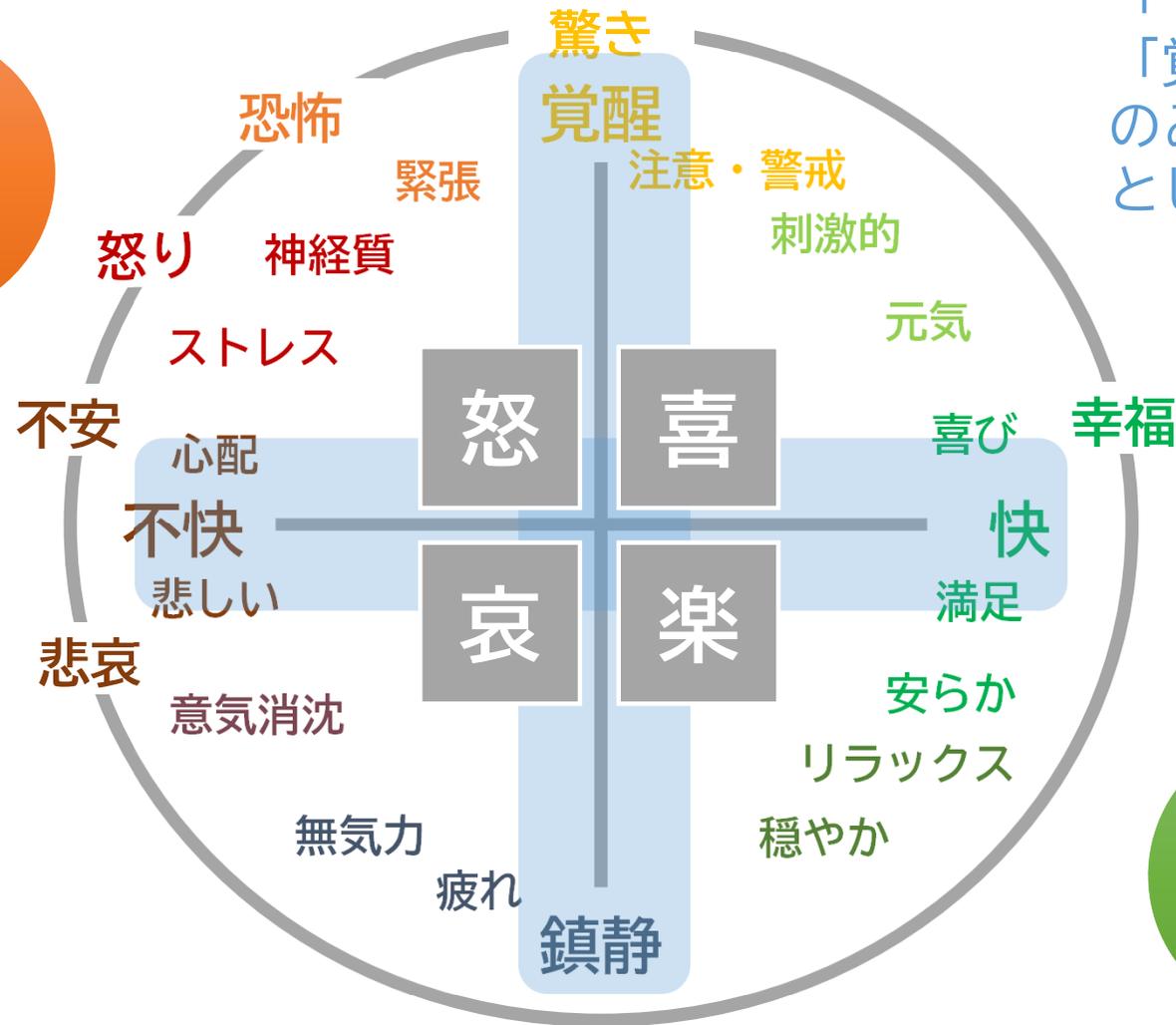
# 感情の仕組み



## ラッセルの感情円環モデル

# 感情の仕組み

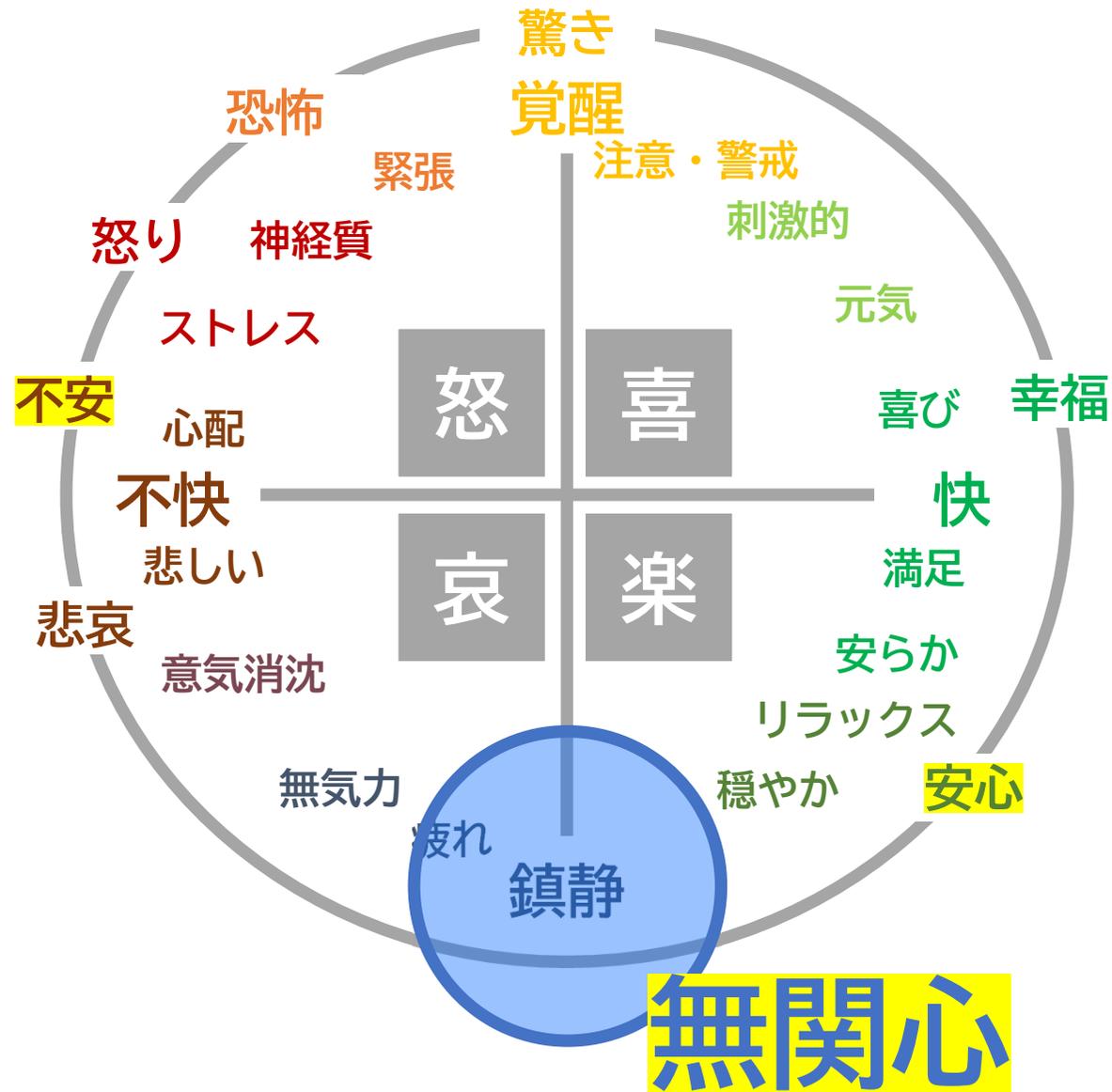
不安



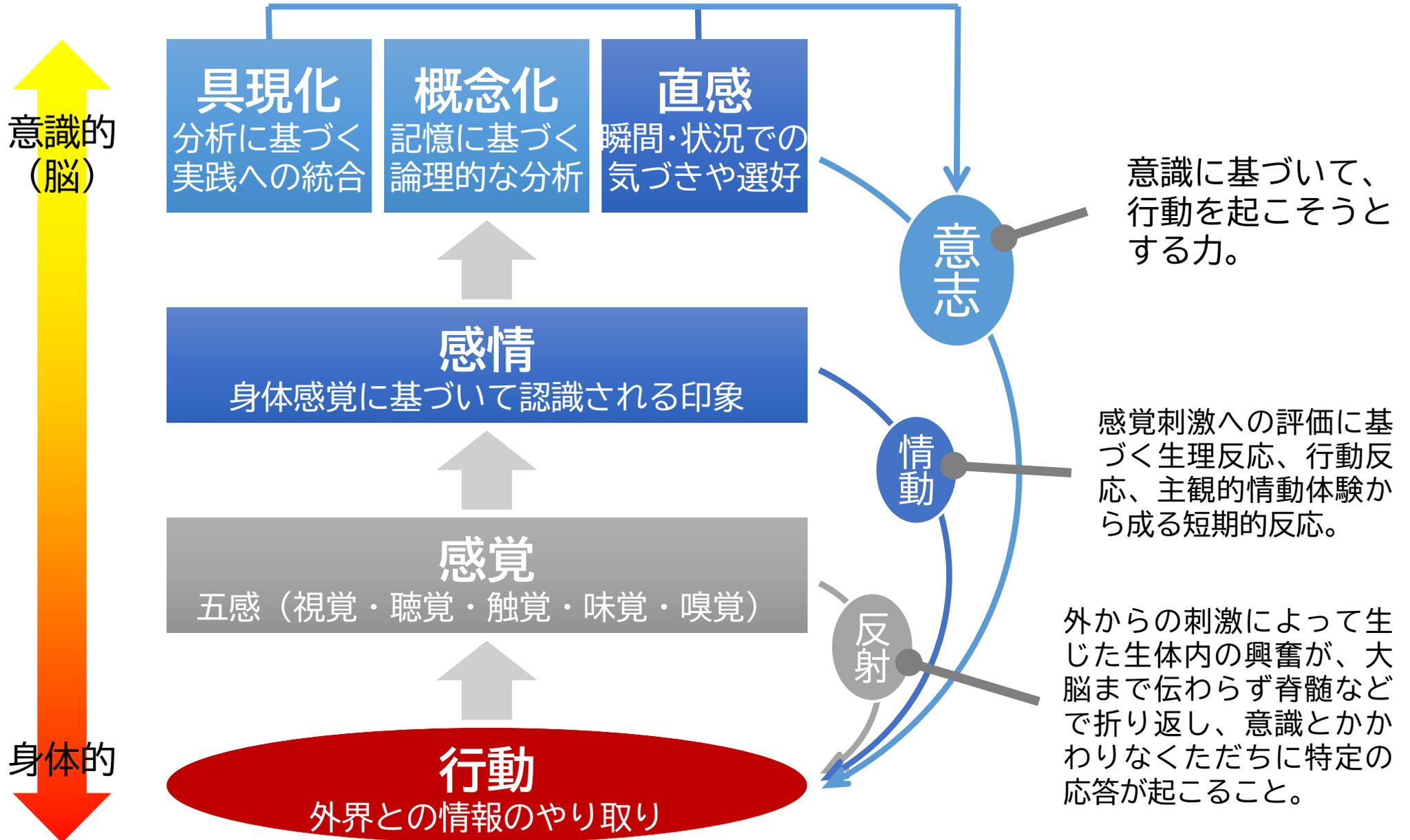
「快 ⇔ 不快」  
「覚醒 ⇔ 鎮静」  
のみ、身体感覚  
として知覚する

安心

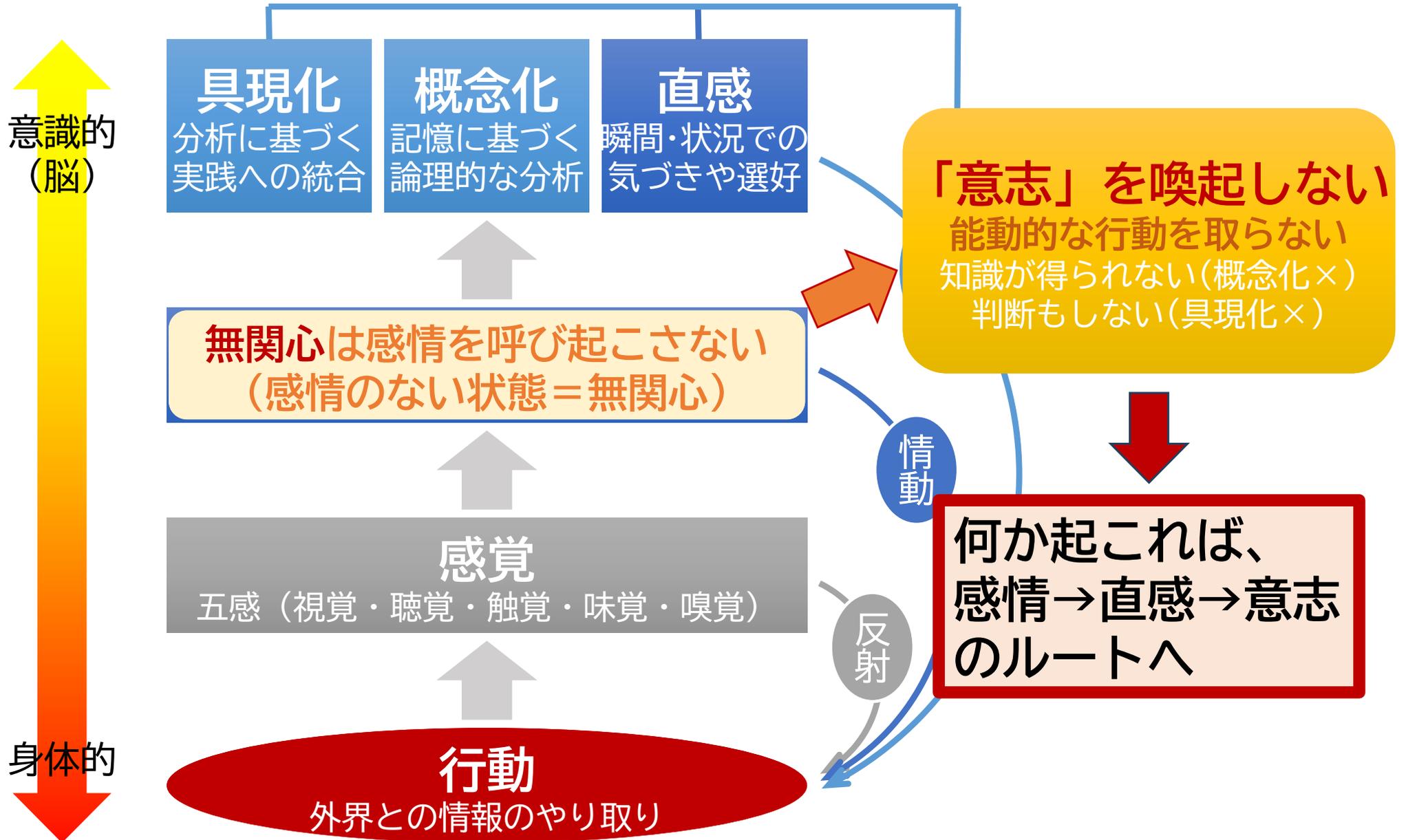
# 無関心とは



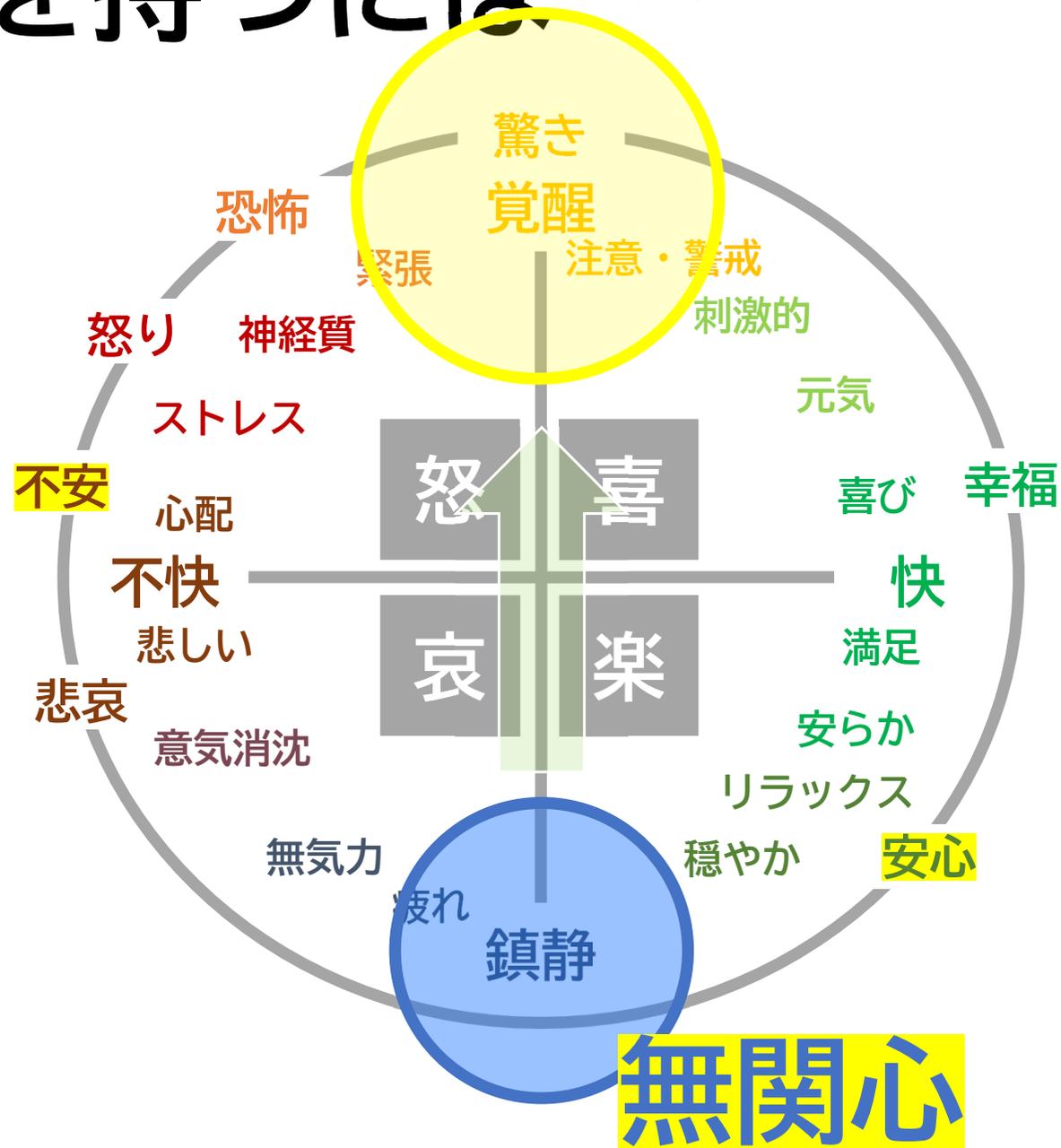
# 意識から行動へ



# 意識から行動へ



# 関心を持つには・・・



コミュニケーションを考える

**「壁」を越える**

# 素朴なリアリズム

## 素朴なリアリズム

私は、世界を  
ありのままに見ている

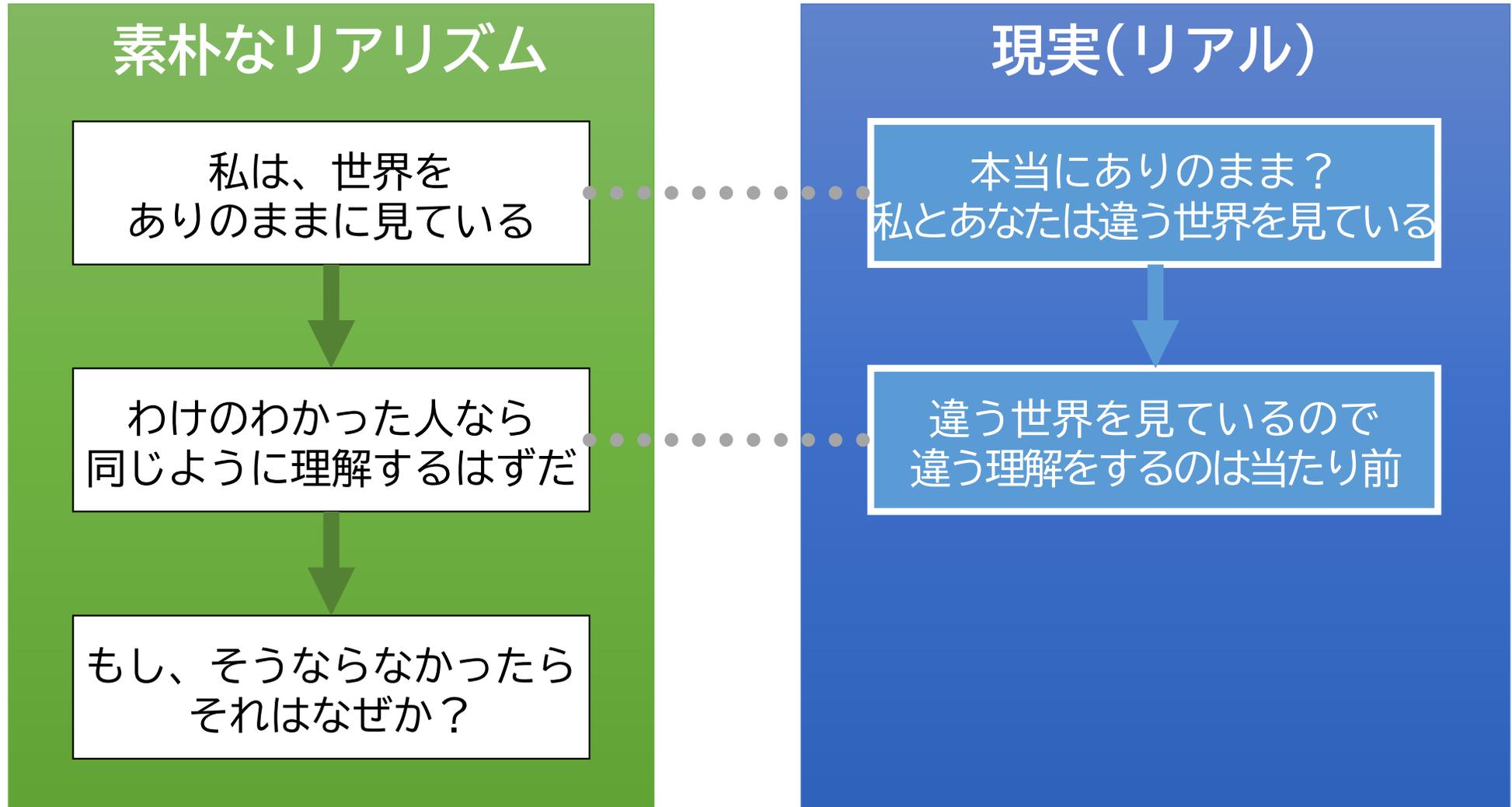


わけのわかった人なら  
同じように理解するはずだ

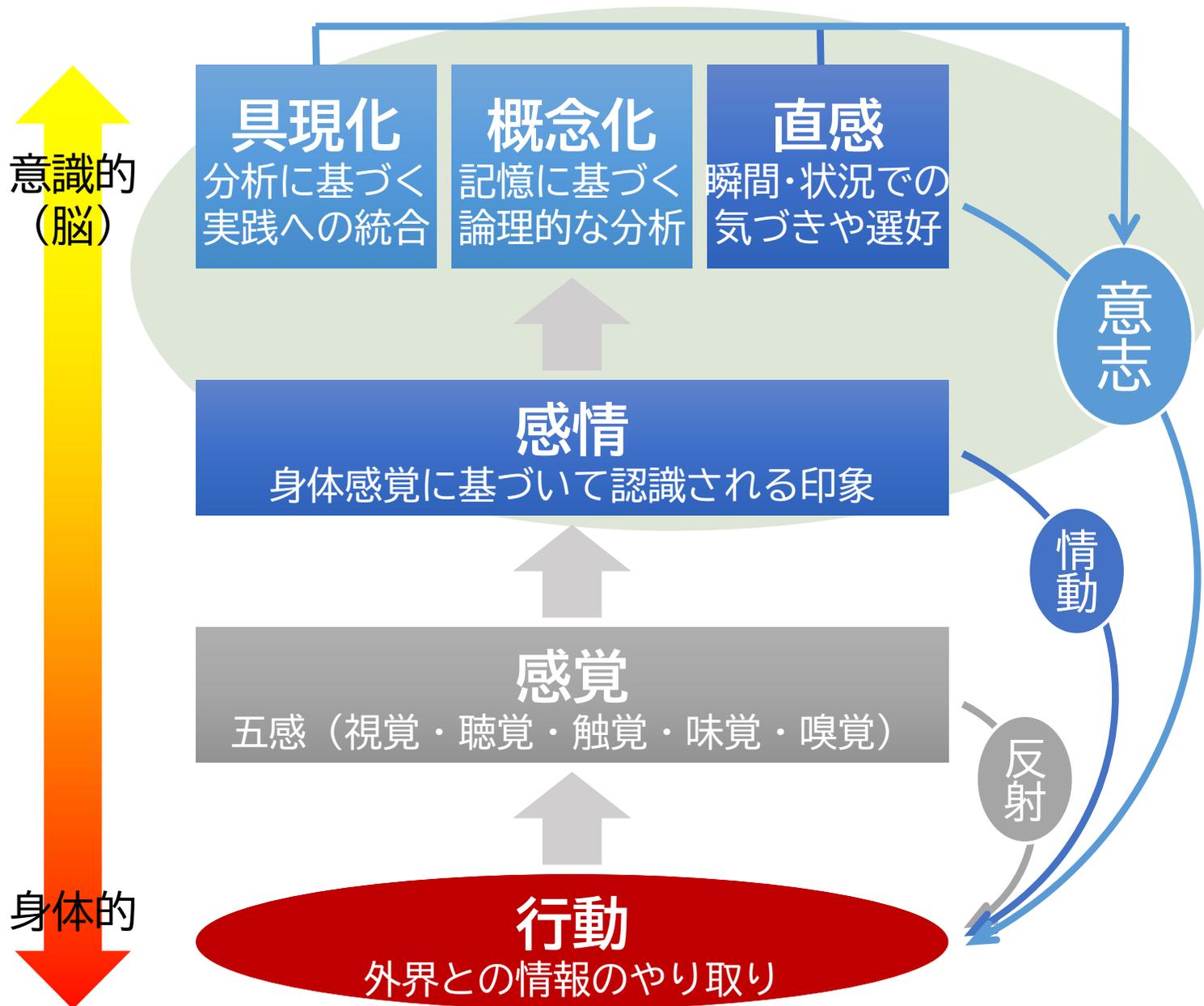


もし、そうならなかったら  
それはなぜか？

# ~~素朴なリアリズム~~ リアル



# 1 自分を理解する



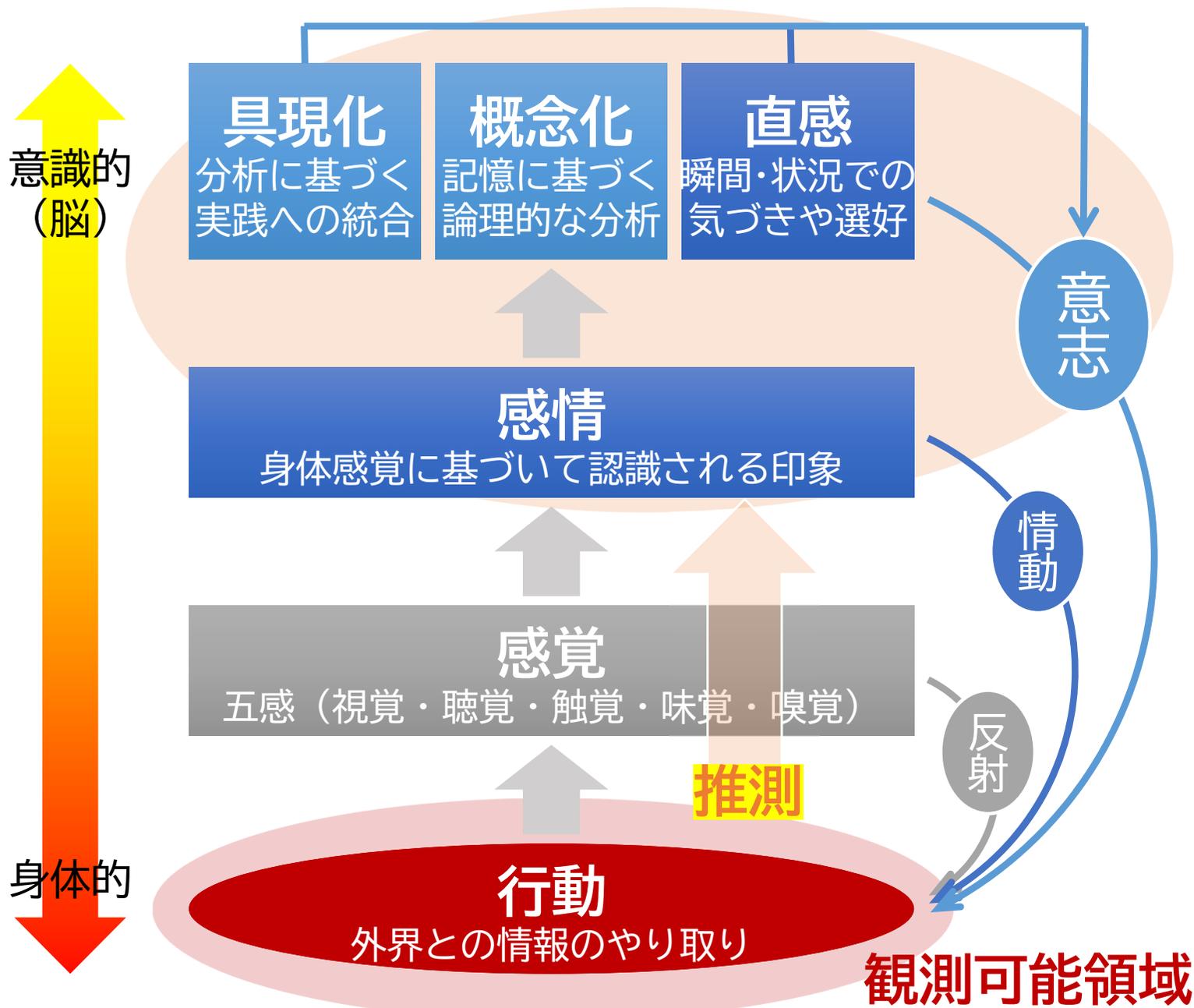
## ▶ ポイント

今の自分の思考が、  
どうやって作られて  
きたのか。どんな記  
憶に基づいて作られ  
てきたのか。

直感による判断はど  
の程度行っているの  
か。

バイアスに陥ってい  
ないか。自分にウソ  
をついていないか。  
自分に正直か。

# 2 相手を理解し、尊重する



## ▶ ポイント

相手の行動は、何に基づいて行われたものなのか。

どのような経験に基づいた感情や思考を持っているのか。

相手の行動や思考をそのまま理解しようと、**割り込まず、共感しながら、丁寧に推測しているか。**

相手の行動や思考を、**自分の枠(経験知)に当てはめて解釈していないか。早合点してないか。**

# 3 お互いの主眼を洗い出す

- その問題をお互いがそれぞれ「どのような問題として捉えているのか」を共有する必要がある。
- できる限り、**本音**を交換する！

- たとえば、地層処分(原子力学会・2008年調査)である。
  - 専門家：技術的に妥当な処分方法であり、どう進めるかについて、自分たちで考えなければならない。
  - 首都圏：技術的に難解で理解ができないし、理解する気もない。専門家の判断に頼るしかない。

進めたい！

頼って大丈夫？

# 地層処分に関する認識比較

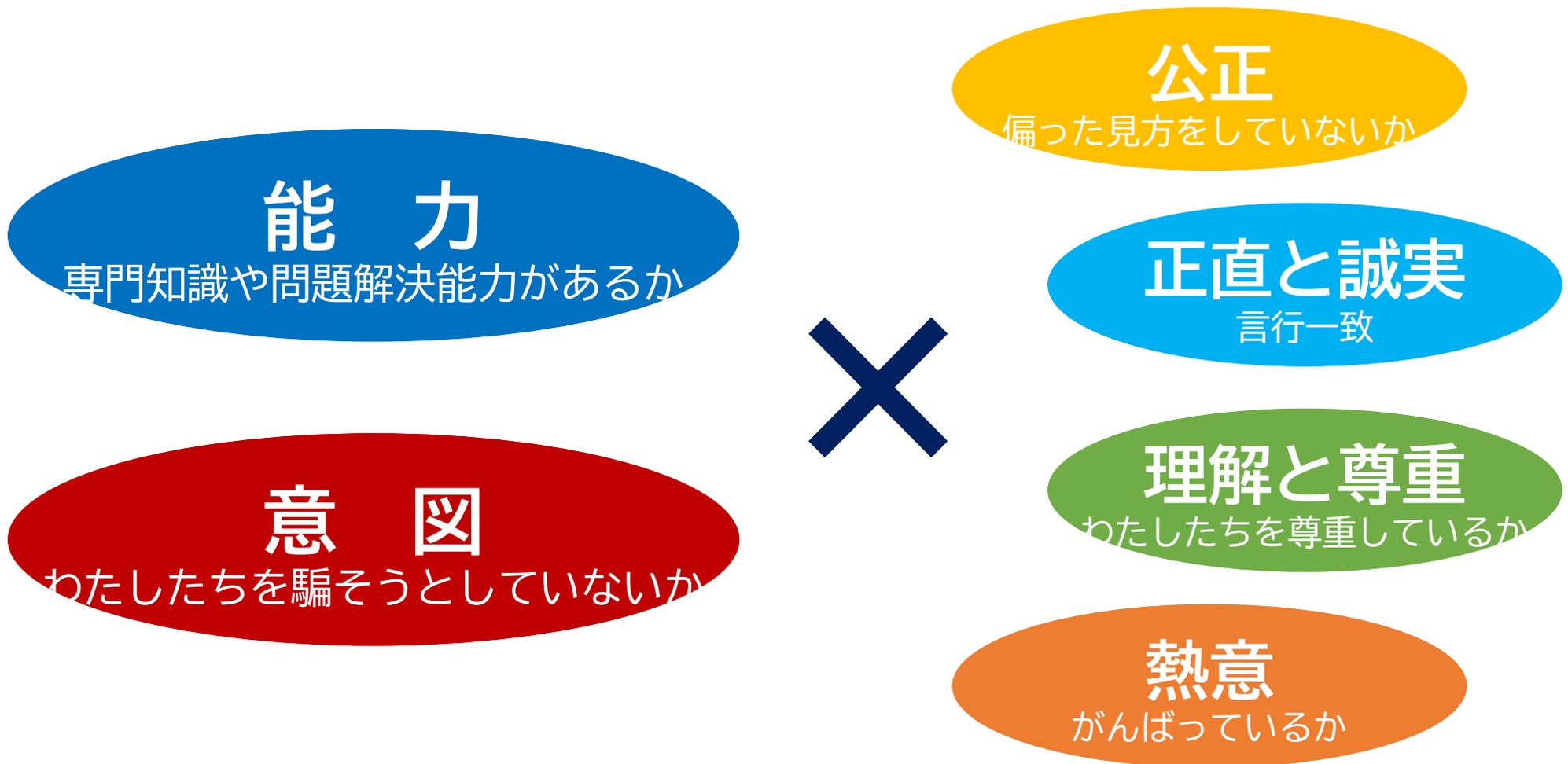
## 専門家

- [高レベル放射性廃棄物の処分がまだ実施されていないこと] は知っている。  
[なぜ、地層処分が選択された] のか理由は明らかで、[地層処分は、処分方法としては妥当なやり方だと思う]。
- 実施にあたっては、[地層処分事業は、国が責任を持ってやるべきだと思う]。
- [私たち自身が、高レベル放射性廃棄物の処分について考えなければいけないと思う]。

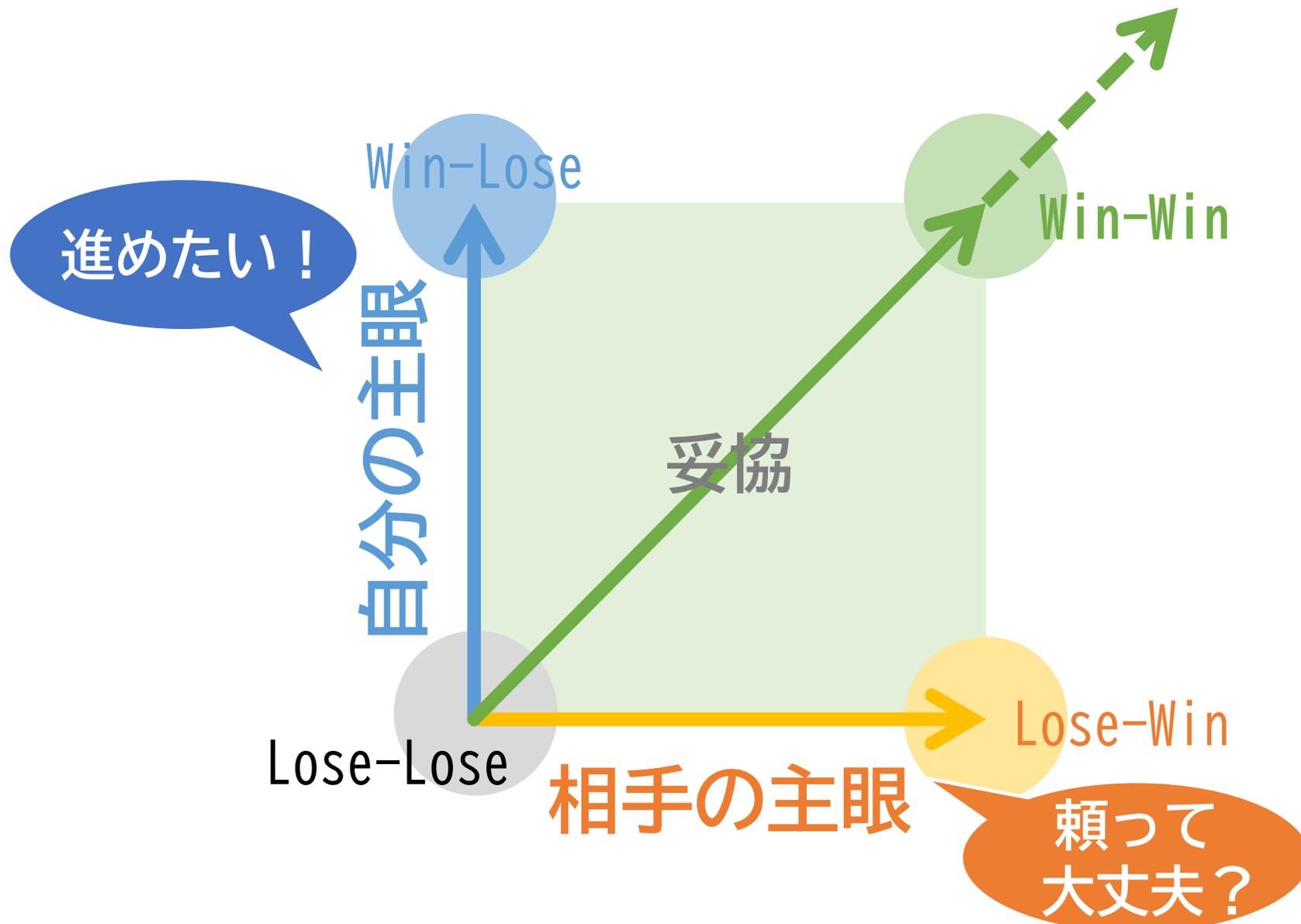
## 首都圏

- [高レベル放射性廃棄物の処分がまだ実施されていないことに驚く]。そして、[なぜ、地層処分が選択されたのかわからない]。
- [地層処分の安全性について、自分で勉強しよう]とは思わず、[専門家の判断に従うしかない]。
- 実施にあたっては、[地層処分事業は、国が責任を持ってやるべきだと思う]。
- しかし、[生活している足下に高レベル放射性廃棄物が埋まっているのは、あまり良い気がしない]。そして、[自分が住んでいる地域に処分場を作ることを認める自治体や住民がいるとは思えない]。

# 4 相互の信頼関係を醸成する



# 5 相乗効果のある解決策を！



# 最後に

- 「相手を変える」のはとても難しい。
  - 基本的には無理なこと。
- 自分にできるのは「自分を変える」ことのみ。  
自分の行動は「自分の責任で」決める。
  - 自分の行動は「周りの責任」ではない。